

## 事業事前評価表

### 国際協力機構 経済開発部 民間セクター開発グループ第二チーム

#### 1. 案件名

国名：ソマリア連邦共和国（ソマリア）

案件名：若者と脆弱層の雇用及び起業促進に係る能力強化プロジェクト

Project for Capacity Development to Promote Employment and Entrepreneurship for Youth and Vulnerable People

#### 2. 事業の背景と必要性

（１）当該国における民間セクター開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ソマリアは、1991年に当時の政権崩壊後、20年以上に渡る紛争・無政府状態によって経済・社会インフラが崩壊し、更には度重なる自然災害（干ばつ等）により国民全体が脆弱な状態に置かれてきた。2012年8月に21年振りに統一政府が樹立され、2023年末にはEAC（東アフリカ共同体）加盟が正式に決定する等、同国は国家の再建を進めている。しかし、2022年の一人当たりGNIは600米ドル<sup>1</sup>、人口の7割が一日2.15米ドル以下で生活する貧困者であり<sup>2</sup>、依然として低所得国に位置する。また、人口の7割にあたる30歳以下の若年層の労働技能及び雇用機会の不足は深刻であり、若年層の失業率は男性で61%、女性で74%にのぼる。その結果、就労できない若年層が犯罪集団や反政府勢力に加入するケースが後を絶たず、社会問題となっている。

かかる状況下、2019年に発表された第9次国家開発計画（The 9th National Development Plan 2020-2024）は、貧困削減の4つの柱として1）包摂的で説明責任のある政治、2）安全保障の改善と法の支配、3）経済成長（雇用の増加を含む）、4）社会開発の改善を掲げ、特に第3の柱「経済成長」において、①雇用ガバナンスシステムの構築（関連機関の能力強化）、②中小零細企業の成長促進（起業家の能力強化を含む）、③労働集約産業の成長促進（第一次産業における、特に若者と女性の雇用創出）が戦略目標とされており、雇用創出が優先課題に据えられている。

JICAは、2018年2月から2023年8月に技術協力「若年層雇用に係る能力強化プロジェクト」を実施し、官民の関連団体及び関係者に対し、第三国での①水産、②建築、③ICTの各分野の職業訓練講師の能力向上（Training of Trainers. 以下、「ToT」）及び④起業家・中小零細企業育成に関するワークショップを実施し、若年層の就業・起業環境改善を支援した。ToT及びワークショップ終了後、

<sup>1</sup> [World Bank \(2024\) GNI per capita, Atlas method \(current US\\$\) – Somalia.](#)

<sup>2</sup> [World Bank \(2023\) Macro Poverty Outlook: Country-by-country Analysis and Projections for the Developing World. Washington DC, USA.](#)

参加者は同国内において若者への訓練や支援を実施している。同事業の実施期間中、166名が第三国での ToT 及びワークショップを受講し、帰国後に 5,561 名<sup>3</sup>に対して研修や支援プログラムを提供した。

同事業の成果を踏まえ、同国政府は我が国に対し、若者への就労及び起業支援のさらなる拡大を目指し、若者と脆弱層の雇用促進に資する本事業を要請した。

## (2) ソマリアに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置付け、課題別事業戦略における本事業の位置付け

我が国は対ソマリア国別開発協力方針（2020 年 9 月）において「国家再建に向けた平和の定着と経済社会安定化支援」を基本方針とし、重点分野「国内産業の活性化」を設定して「若年層の社会復帰・経済活動参画プログラム」を実施しており、本事業は同プログラムに位置づけられる。

また本事業は、JICA のグローバルアジェンダ（課題別事業戦略）「民間セクター開発」における「アフリカ・カイゼン・イニシアティブ」クラスターの取組の一環として、同国労働者・事業者の競争力や経営管理能力の向上、及び雇用機会獲得に資するものである。さらに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標 1「貧困をなくそう」、目標 8「生きがいも経済成長も」及び目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に貢献する。

## (3) 他の援助機関の対応

世界銀行（WB）は「Somalia Capacity Advancement, Livelihoods and Entrepreneurship, through Digital Uplift Program: SCALED-UP」（2019～2025 年）を実施中である。同国のデジタル金融・行政サービスへのアクセス向上を目的として、中小零細企業向けの融資機関（Gargaara Finance Limited）の設立とその能力強化、金融アクセス向上のための制度構築支援等を展開している。

アフリカ開発銀行（AfDB）は「Skills for Employability, Inclusion and Productivity Project」（2023～2025 年）において、職業訓練（TVET）機関のインフラ整備、制度・ガバナンス構築等を支援中である。

ドイツ国際協力公社（GIZ）は「Rehabilitation of Technical and Vocational Education and Training in Somalia」（2018～2023 年）において、ソマリア国内 5 カ所の TVET センターの能力強化（インフラ整備を含む）、TVET 研修モジュールの開発等を支援した。

国際貿易センター（ITC）は日本政府の支援を受けて「Economic self-reliance through digital work for displacement affected communities」（2021～2022 年）

---

<sup>3</sup> ToT・ワークショップ参加者へのアンケート調査による。

を実施し、SIMAD 大学のイノベーションラボ「iLab」<sup>4</sup>を支援した。同プロジェクトは 若者を対象にしたデジタル・スキル獲得のための研修やメンターシップ・プログラムを実施した。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業目的

本事業は、ソマリアにおいて 1) 起業家・中小零細企業支援を担う人材の能力向上、2) 対象産業<sup>5</sup>の就業を促進する人材の能力向上、3) 就業能力向上訓練を促進する官民の組織間の連携強化を行うことにより、若者と脆弱層に対する就業能力向上訓練の実施能力の向上を図り、もって官民による若者と脆弱層の起業及び就業支援能力の強化に寄与するもの。

#### (2) プロジェクトサイト／対象地域名

ソマリア全域及び第三国

計画時点において、同国に関する JICA 安全対策措置により、JICA 関係者が現地渡航できないため、本邦又は第三国からの遠隔での業務と第三国での研修・ワークショップを組み合わせた活動を展開する。

#### (3) 本事業の受益者（ターゲットグループ）

##### 1) 直接受益者：

- ① 起業家・中小零細企業の支援者育成研修・ワークショップの参加者
- ② 職業訓練講師育成研修（ToT）の参加者
- ③ 実施機関及び関係省庁

##### 2) 最終受益者：

若年層と脆弱層

#### (4) 総事業費（日本側）

約 2.9 億円

#### (5) 事業実施期間

2024 年 9 月～2027 年 8 月を予定（計 36 カ月間）

<sup>4</sup> 同ラボは ABE イニシアチブのソマリア人修了生が帰国後に設立。

<sup>5</sup> 対象産業は 1) 水産、2) 農業、3) ICT、4) 再生エネルギーの 4 つの中からの選定をソマリア側から要望されている。プロジェクト開始後にニーズ調査を実施し、その結果をもとに本事業での対象産業を決定する予定。

## (6) 事業実施体制

カウンターパート機関：

- ① 計画・投資・経済開発省 (Ministry of Planning, Investment and Economic Development: MoPIED)
- ② 貿易・産業省 (Ministry of Commerce and Industry: MoCI)
- ③ 労働・社会福祉省 (Ministry of Labour and Social Affairs: MoLSA)

## (7) 投入 (インプット)

### 1) 日本側

- ① 専門家派遣 (約 22M/M)  
※専門家は本邦及び第三国からの遠隔業務、並びに第三国での研修・ワークショップの実施を行う。
- ② 第三国研修・ワークショップ
- ③ プロジェクト活動経費

### 2) ソマリア側

- ① カウンターパート職員の配置
- ② 必要なデータ及び情報の提供
- ③ 研修実施に係るロジスティクス・事務的支援
- ④ プロジェクト活動経費

## (8) 他事業、他開発協力機関等との連携・役割分担

### 1) 我が国の援助活動

JICA は「若者の雇用促進に係る能力強化プロジェクト」(2018~2023 年)を実施した。本事業では同事業の成果を活用し、第三国で実施する ToT・ワークショップのプログラム、研修実施機関、ToT・ワークショップ参加者が組成した「Somali Business Support Network」等による事業の迅速な立ち上げを図る。また、本事業ではローカルリソース (ケニア等の第三国のリソース) を活用して事業の効果・効率を高める。併せて ToT・ワークショップ参加者の帰国後の活動実績の追跡・モニタリング体制の構築を支援し、参加者の帰国後の活動支援の可能性についても検討する。

我が国政府は ITC を通じて SIMAD 大学の iLab を支援した (Economic self-reliance through digital work for displacement affected communities : 2021~2022 年)。本事業は起業家・中小零細企業支援の分野で iLab と連携し、ワークショップとソマリア国内での活動において成果拡大を図る。(同機関関係者に

よるワークショップでの講義・指導やワークショップ参加者のアクションプラン実施支援等を想定)

## 2) 他援助機関等の援助活動

WB は上記「SCALED-UP」において、国内のリテール金融機関を通じた中小零細企業向け融資の拡大に取り組んでおり、本事業の起業家・中小零細企業支援の資金アクセスの強化との連携の可能性がある。

GIZ は職業訓練 (TVET) のカリキュラム開発の支援を実施しており、本事業の職業訓練講師育成においては、研修内容の整合性を図る。

AfDB は、「Skills for Employability, Inclusion and Productivity Project」において TVET 機関のインフラ整備と民間セクターとの連携を支援しており、本事業の職業訓練講師能力向上の人材育成と同国内での活動において連携の可能性がある。

## (9) 環境社会配慮・横断的事項・ジェンダー分類

### 1) 環境社会配慮 :

① カテゴリ分類 : C

② カテゴリ分類の根拠:「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

### 2) 横断的事項 :

紛争が長期化した国の国家建設では、紛争または暴力の連鎖を断つことが最大の課題である。暴力の連鎖を断ち切るためには、市民に安全と正義、及び雇用を提供するための制度・体制が欠かせないことから、本事業を通じて若者と脆弱層の雇用促進のための環境整備を支援することは、同国の安定化並びに国の復興という観点からも重要である。また、就業による安定収入の確保と生活水準の向上、就労意欲の形成を通じて、若者と脆弱層が身体的・精神的・社会的に良好な状態になること (ウェルビーイングの向上) が期待される。なお、ソマリアは中央政府と地方政府の関係が必ずしも良好ではないため、紛争予防配慮の観点から研修等の参加者選定にあたり、地域バランスに配慮する。

### 3) ジェンダー分類:【対象外】(GI) (ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件)

<分類理由>ジェンダー平等や女性のエンパワメントに資する具体的な取組を実施するに至らなかったため。

第三国での研修及びワークショップでは可能な限り参加者のジェンダーバランスに留意するよう、実施機関に働きかける。

## (10) その他特記事項

同国における JICA 安全対策措置に従いプロジェクト運営を行う。

#### 4. 事業の枠組み

##### (1) 上位目標：

関係省庁及び支援機関の若者・脆弱層の起業及び就業を促進する能力が強化される。

##### 指標及び目標値：

指標 1 起業家・中小零細企業支援を受けた1年あたりの受益者数が増加する。

指標 2 職業訓練を受けた1年あたりの受益者が増加する。

指標 3 就業支援プラットフォームを通じたコミュニケーションや活動が実施される。

指標 4 起業・就業促進のための政策文書が関係省庁により作成される。

##### (2) プロジェクト目標：

関係省庁及び支援機関の若者・脆弱層向けの就業能力向上訓練を実施する能力が強化される。

##### 指標及び目標値：

指標 1 XX人以上が起業家・中小零細企業支援機関<sup>6</sup>による支援を受ける。

指標 2 XX人以上が職業訓練機関からの支援を受ける。

指標 3 研修・ワークショップの参加者により作成されたアクションプランがXX件以上実行される。

##### (3) 成果

成果 1：起業家及び中小零細企業を支援する人材の能力が強化される。

成果 2：対象産業における就業を促進する人材の能力が強化される。

成果 3：ソマリア国内において、就業能力向上訓練を拡大する官民の支援組織による調整・連携を促進する役割が強化される。

##### (4) 主な活動

##### 成果 1に関する活動：

1-1 起業を促進・支援する組織のスキル・ギャップを特定するニーズアセスメントを実施する。

1-2 第三国での研修とワークショップによるスタートアップ企業と中小零細企業を支援する人材育成計画を策定する。

<sup>6</sup> ソマリア国内の支援機関として、SIMAD 大学 i Lab、iRise Hub、Hano Academy 等を想定。プロジェクト実施中はこれらの機関との連携を図る。

- 1-3 第三国での研修とワークショップの各セッションの実施計画を作成する。  
(目的、内容、対象グループ、研修機関など)
- 1-4 研修とワークショップの実施のための調整業務を行う。(研修機関との契約、プログラムの決定、参加者の選定、必要書類の作成と申請)
- 1-5 第三国での研修とワークショップを実施し、各参加者がソマリア国内において技術と知識を普及するためのアクションプランを策定する。
- 1-6 実施された研修とワークショップの評価を行う。

成果2に関する活動：

- 2-1 職業訓練機関のスキル・ギャップを特定するニーズアセスメントを実施すると共に、同アセスメントを通じて対象産業を特定する。
- 2-2 第三国での研修による対象産業の職業訓練講師の能力開発計画を策定する。
- 2-3 第三国での研修の各セッションの実施計画を作成する。(目的、内容、対象グループ、研修機関など)
- 2-4 研修実施のための調整業務を行う。(研修機関との契約、プログラムの決定、参加者の選定、必要書類の作成と申請)
- 2-5 第三国での研修を実施し、各参加者がソマリア国内において技術と知識を普及するためのアクションプランを策定する。
- 2-6 実施された研修の評価を行う。

成果3に関する活動：

- 3-1 政府関係者の政策立案能力向上を目的とした研修を第三国にて実施する。
- 3-2 第三国での研修とワークショップ参加者によるネットワークを構築する。
- 3-3 関係省庁間の活動について調整メカニズムを構築する。
- 3-4 (研修とワークショップの)参加者による、ソマリア国内で実施する研修を関係省庁へ報告する制度を構築する。(アクションプランの実施)
- 3-5 (研修とワークショップの)参加者間の、研修とワークショップ後の活動とプロジェクトの成果の普及に関する、知識と経験を共有する活動を実施する。

## 5. 前提条件・外部条件

### (1) 前提条件

同国の安全状況がプロジェクト実施に問題ない。

### (2) 外部条件

- ・プロジェクト活動の実施のために適切な予算及び人員が配置されている。
- ・本事業で研修を受けたトレーナーとメンターを含む研修参加者が自己の職務を離れていない。
- ・同国政府が起業家と中小零細企業を支援する政策を大きく変更しない。

- ・ 同国のビジネス環境が起業家と中小零細企業にとって信頼できる。

## 6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

「若年層雇用に係る能力強化プロジェクト」(2018-2023 年)では、同国の安全状況下において実施する協力として、第三国や本邦での研修等を実施し、研修等参加者が同国へ戻って若年層への研修を実施する方法が有効であることが示された。また、その過程において、カウンターパートとの意見調整、研修内容の検討、研修参加者の選定、参加者の第三国への渡航のロジスティクス、研修参加者によるネットワークの構築、研修参加者が他ドナーの支援を活用して若年層への研修を実施したこと等、教訓と効果的な方策を得た。

本事業では、これらの教訓に対応し、カウンターパートのニーズに柔軟に対応して、より多くの研修等を実施し、研修参加者による帰国後の活動を支援する効果的な方策を取り入れることによって、事業成果の拡大を図る。

## 7. 評価結果

本事業は、同国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の援助方針・実施方針と合致し、若者・脆弱層の就業及び起業促進にかかる官民の支援機関の能力強化を図り、経済成長と貧困削減に資するものである。SGDs 目標 1「貧困をなくそう」、目標 8「生きがいも経済成長も」及び目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

## 8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

事業開始 6 カ月以内    ベースライン調査

事業完了 3 年後        事後評価

以 上